



CONTENTS

- 活動報告・各種会議議事録
- 第44回大会報告
- 会員動静
- 学会関連カレンダー
- 学会主催会議等の詳細
- 残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018出版のご案内
- 講師派遣のご案内
- 【予告】農薬科学研究奨励金
- 日本農薬学会第45回大会のご案内
- 日本農薬学会第45回大会における広告、展示およびランチョンセミナー募集のご案内

平成30年度 第5回常任評議員会議事録

日 時：平成31年3月10日(日) 14:00～15:00
場 所：名城大学天白キャンパス 共通講義棟南S212
出席者：出席者 16名、欠席者 1名

議事：

- I. 平成30年度第4回常任評議員会議事録の確認
- II. 経過報告および議案
 1. 第44回大会関係
 - ・第44回大会準備状況について報告があった。
 - ・第45回評議員会資料及び進行について報告があった。
 - ・第44回通常総会資料及び進行について報告があった。
 - ・著作権委譲について報告があった。
 2. 財務関係
 - ・平成31年度収支予算について報告があった。
 - ・学術小集会活動経費取扱に関する申合せの改定について報告があった。
 - ・IUPAC渡航補助申請について承認した。
 - ・内部監査、外部監査について報告があった。

3. 学術・技術支援委員会
 - ・学術・技術支援委員会活動について報告があった。
4. 2019-2020年度専門委員会委員長、委員について
 - ・専門委員会委員長、委員について承認した。
5. 2019-2020年学術小集会委員長、委員について
 - ・学術小集会委員長、委員について承認した。
6. 技術士育成推進委員会
 - ・5学会で開催された委員会について報告があった。
7. 公益財団法人農学会、一般社団法人日本農学会
 - ・公益財団法人農学会の担当の変更について報告があった。
 - ・一般社団法人日本農学会大会について報告があった。
8. 国際学会の渡航費補助について
 - ・2件の申請について承認した。
9. 入退会の報告
 - ・入退会について報告があった。
10. その他
 - ・学会誌の保管方法について承認した。
 - ・次年度、次々年度常評日程について報告があった。
 - ・会員増に向けた提案があった。

第204回常任編集委員会 議事録

日 時：平成31年4月27日(土) 15:00～16:30
場 所：京都大学農学部総合館 応用生命科学専攻第一セミナー室
出席者：10名

報告事項：

1. 日本農薬学会誌 Vol. 44 No. 2の掲載論文の確認を行った。
読み物シリーズは次号以降は岐阜県、東京都に依頼予定、ミニレビューは前号掲載分が延期となり、第44巻—第2号に掲載予定である。
2. 投稿およびアクセス状況
2019年4月23日現在の投稿状況を報告した。PDFダウンロード数が増加、PubMed掲載の影響が考えられ

る。

- 掲載料変更に伴って、投稿規定、投稿細則の改訂があった。

議事：

- 第22期編集委員会の方針
第22期常任編集委員に新たに3名が加わった。
- IUPAC特集
渡航費を援助した参加者5名によるシンポジウムを特集号とする。
- JPSのReviewの執筆依頼を行った。
JPS44-4号 氏原氏
“Structural modifications of natural pyrethrins and developments of synthetic pyrethroids (tentative title)”
JPS45-1号 米山氏
“Chemical biology study for strigolactones (tentative title)”
- 投稿査読システム (Editorial manager; EM) の使い方のReview執筆依頼の際の連絡はEMシステムとは別で、直接依頼をしている方が多いが、英文校閲を受けているか回答する項目が必要かもしれない。

は、CC BY-NC-ND (原作者の氏名、タイトルなどを表示し、且つ非営利目的であり、元の作品を改変しないことを主な条件に、作品を自由に再配布できる) とすることにした。

- 将来計画委員会から編集委員会へ以下の1)-3)の要望が伝えられ、今後議論し、早期に実現できるように努力することになった。
 - 和文誌は冊子体を残し、英文誌はオンライン版だけにする。PDF版をオンラインで配信できれば、誌面フォーマットを含め図や写真を全て無料でカラー化することができ、印刷費を削減することが出来る。
 - Original Paperの誌面を投稿したくなる見映え・デザインに変更する。英文誌をオンライン版のみにできれば、カラー印刷によって視覚に訴えることのできる魅力的な誌面作製が、特別料金の請求なしに可能となる。
 - 他学会でも少ない動物用医薬の環境動態などの関連分野も取り扱うようにする。

日本農薬学会第44回大会報告

第205回常任編集委員会議事録

日時：令和元年7月27日(土) 14:30~16:30

場所：京都大学農学部総合館 応用生命科学専攻第1セミナー室

出席者：10名

議事：

- 8月20日発行予定の日本農薬学会誌 Vol. 44 No. 2およびJournal of Pesticide Science Vol. 44, No. 3に掲載予定の論文について報告があった。
- 最近の投稿状況およびアクセス件数について報告があった。
- JPSのインパクトファクターの推移について報告があった。インパクトファクターを上げるためには、引用して貰える論文を掲載していくことが重要である。Reviewに加えて、学会賞を受賞した論文も引用が多い。
- 論文賞候補の選考を行った。編集委員より推薦のあった12論文のうち、投票により候補論文を決定した。また、次点論文を選考した。次回選考までに選考手順・方法を改定することにした。
- JPSオープンアクセス化について議論を行った。編集委員会としては、オープンアクセス化には特に問題がないということで一致した。ただし、CCライセンス

日本農薬学会第44回大会は、平成最後の学会として去る平成31年3月11日(月)より13日(水)までの3日間、愛知県名古屋市の名城大学天白キャンパスを会場として開催されました。本第44回大会は、正会員、名誉会員、終身会員、維持会員、関連学会の方々(257名)、学生会員(40名)や非会員(124名)の方々の参加があり、参加者総数は421名を数えました。初日は、名城大学天白キャンパス名城ホールにおいて、総会に引き続き、学会賞授賞式、奨励賞(2題)、業績賞(研究、2題)、業績賞(技術、2題)の受賞講演、さらに、特別講演(2題)が行われました。懇親会の会場は、名城大学の食堂にて開催しましたが、269名と多くの皆様にご参加頂きました。大会2日目と3日目は名城大学天白キャンパス共通講義棟南を会場として、一般講演(84題)、シンポジウム(2会場)、技術士試験対策セミナー、およびランチョンセミナー(8題)が行われました。今回は、最終日の午前に最先端の研究成果に基づく「形を見る、形から学ぶ」そして午後には地域の現場での課題に焦点をあてた「東海地方の主要作物とその病害虫防除」と題したシンポジウムをそれぞれ開催したところ、いずれの会場も多くの参加者により、活発な討論が繰り広げられていました。

本第44回大会では、前日の3月10日(日)に、本学会が後援した「上手な農作物の作り方と農薬の正しい使い方」と題した公開シンポジウムを一般市民を対象として名城ホールにて開催しました。本公開シンポジウムでは、藤田 智先生(恵泉女子大学教授、NHK趣味の園芸やさいの時間講師な

ど)による「上手な家庭菜園—栽培法と病害虫対策—」と吉田 緑先生(内閣府食品安全委員会委員)による「農薬の安全性と使い方」と題した講演があり盛況裏に終了しました。

皆様のご協力により、第44回大会(名古屋)を無事に終えることができました。参加者各位、特別講演、シンポジウムの演者の方々、また、企業展示8件、広告16件と多くのご協力を賜りご支援をいただきました企業各社に厚く御礼申し上げます。大会運営を支えていただいた組織委員各位ならびに学生諸君に心から御礼申し上げます。最後に、今後の皆様の益々のご活躍とご発展を祈念しております。

日本農薬学会第44回大会実行委員会委員長
田村 廣人(名城大学)

学生優秀発表賞(○印は受賞した学生)

「ミトコンドリア呼吸鎖複合体-Iのキノン/阻害剤結合ポケットの構造特性の解明」

○宇野晋平, 木村洋則, 村井正俊, 三芳秀人(京都大学・大学院農学研究科)

「汚染物質輸送因子の結合活性制御に着目したウリ科作物の汚染低減化」

○藤田健太郎¹, 近藤恭光², 本田香織², 羽賀雄紀³, 長田裕之², 松村千里³, 乾秀之^{1,4}(¹神戸大院・農, ²理研・CSRS, ³兵庫県環境研セ, ⁴神戸大・バイオ)

「植物糖による青枯病菌二次代謝の活性化と病原力への寄与」

○坂田恵¹, 石川陽子¹, 村井勇太¹, 大西浩平², 曳地康史³, 甲斐建次¹(¹阪府大院・生命環境, ²高知大・総研セ, ³高知大・農)

「イネにおけるフラボノイド型ファイトアレキシン, サクラネチンの蓄積に関する種内変異」

○村田晃一¹, 高田諒², 宇部尚樹³, 上野琴巳⁴, 寺石政義², 奥本裕², 森直樹², 石原亨¹(¹鳥大院持続性社会, ²京大院農, ³鳥大院連農, ⁴鳥大農)



写真1 平成31年度学会賞受賞者(前列右から4人目は三芳会長)



写真2 学生優秀発表賞の授賞式(右上から時計回りに京都大・宇野氏, 神戸大・藤田氏, 大阪府大・坂田氏, 鳥取大・村田氏)

日本農薬学会第44回大会 収支報告書

単位：円

科 目	決 算 額	備 考
【収入の部】		
大会参加費	3,439,000	有料参加者数
懇親会参加費	1,771,000	大会
		懇親会
		正会員
		257
		学生会員
		40
		非会員
		124
		合計
		421
		269
講演要旨集頒布料	81,000	27冊
広告料・展示料	1,540,000	広告16件 展示8件
ランチョンセミナー収入	2,000,000	8件
収入合計	8,831,000	
【支出の部】		
会議費	3,387,480	会場関係費 懇親会費 弁当代等
旅費・交通費	194,010	講師旅費, 運営委員旅費, 宿泊費
印刷費	469,260	講演要旨印刷費 550部
通信運搬費	24,474	郵送料, 切手代, 振込手数料
消耗品費	30,395	筆記用具等
謝金	200,466	講師謝金
賃金	432,000	アルバイト賃金
支出合計	4,738,085	
収支差額	4,092,915	

会 員 動 静

(平成31年3月1日～平成31年4月30日)

入 会

正会員

遠藤 善寿 川口 昌宏 池見 直起 木村 幸
伊藤 和男 富永 秀人 岩佐 博邦

(受付順)

退 会

名誉会員

森 謙治

終身会員

香田 克己 石井敬一郎

正会員

千田 常明 森田 健 中平 国光 土澤 誠

細田 晃文 三宅 孝明 足立 香代

学生会員

西本明日香 財前 穂波 能崎 薫 新山 瑠璃

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催，共催，協賛，後援する会議等

2019年

9月

19日(木)～20日(金) 残留農薬分析セミナー 2019 (関東)

主 催：日本農薬学会

会 場：明治薬科大学 清瀬キャンパス [〒204-8588 東京都清瀬市野塩2-522-1]

U R L : http://pssj2.jp/overview/semina/bunseki_19.html

25日(水) 第34回報農会シンポジウム

主 催：公益財団法人 報農会

会 場：「北とびあ」つつじホール [〒114-8503 東京都北区王子1-11-1]

U R L : <http://www.honokai.org/PDF/Symposium-34-poster.pdf>

10月

17日(木)～18日(金) 第39回農薬製剤・施用法研究会

主 催：日本農薬学会，農薬製剤・施用法研究会

会 場：つくば国際会議場 大ホール [〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/seizai/seizai39.html>

31日(木)～11月1日(金) 第42回農薬残留分析研究会

主 催：日本農薬学会，農薬残留分析研究会

会 場：コンパルホール [〒870-0021 大分県大分市府内町1-5-38]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanryu42.html>

11月

8日(金) 第34回農業デザイン研究会

主 催：日本農業学会，農業デザイン研究会
会 場：東京コンファレンスセンター品川 [〒108-0075
東京都港区港南1-9-36]
U R L：http://pssj2.jp/committee/design/design34.html

14日(木)～15日(金) 残留農薬分析セミナー 2019 (関西)

主 催：日本農業学会
会 場：大阪府立環境農林水産総合研究所 [〒583-0962
大阪府羽曳野市尺度442]
U R L：http://pssj2.jp/overview/semina/bunseki_19.html

21日(木)～22日(金) 第37回農業環境科学研究会

主 催：日本農業学会，農業環境科学研究会
会 場：倉敷せとうち児島ホテル [〒711-0926 岡山県倉
敷市下津井吹上303-53]
U R L：http://pssj2.jp/committee/environment/environment
37.html

12月

4日(水) 第27回農業レギュラトリーサイエンス研究会

主 催：日本農業学会，農業レギュラトリーサイエンス研
究会
会 場：東京都北区
U R L：http://pssj2.jp/committee/regulatory.html

2020年

3月

8日(日)～10日(火) 日本農業学会第45回大会

主 催：日本農業学会
会 場：大阪府立大学 [〒599-8531 堺市中区学園町1-1]
U R L：http://pssj2.jp/

詳細未定 第18回農業バイオサイエンス研究会 (第45回大会と共催でシンポジウムを開催)

主 催：日本農業学会，農業バイオサイエンス研究会
会 場：大阪府立大学 [〒599-8531 堺市中区学園町1-1]
U R L：http://pssj2.jp/

9月

15日(火)～18日(金) アジア植物病理学会

主 催：日本植物病理学会
会 場：つくば国際会議場
U R L：https://acpp2020.org

学会主催会議などの詳細

残留農薬分析セミナー 2019開催のお知らせ

残留農薬分析セミナー 2019を下記要領で開催します。なお、詳細については日本農業学会ホームページ (URL: http://pssj2.jp/overview/semina/bunseki_19.html) をご参照ください。

1. 開催時期

【関東】(明治薬科大学後援)

- ・場所：明治薬科大学 清瀬キャンパス
- ・日時：2019年9月19日(木)～20日(金) 2日間 (1日目の講義のみの受講も可)
19日講義 13時00分～17時20分 (予定)
20日実習 9時30分～16時30分 (予定)
- ・定員：2日間コース (講義+実習) 16名，1日目講義のみ24名まで (2日目実習のみは受付けていません) 先着順，最終申込締切：9月5日。開催当日での申込・参加はできません。

【関西】(大阪府立環境農林水産総合研究所後援)

- ・場所：大阪府立環境農林水産総合研究所
- ・日時：2019年11月14日(木)～15日(金) 2日間 (1日目の講義のみの受講も可)
14日講義 12時50分～17時40分 (予定)
15日実習 9時20分～16時30分 (予定)
- ・定員：2日間コース (講義+実習) 16名，1日目講義のみ34名まで (2日目実習のみは受付けていません) 先着順，最終申込締切：11月1日。開催当日での申込・参加はできません。

2. 受講費

	講義のみ (1日間) (昼食無)	講義+実習 (2日間) (1日分昼食付)
会員	6,000円	17,000円
非会員	16,000円	33,000円
学生	4,000円	6,000円

(昼食付は，受講費に昼食代を含む)

3. 申し込み先

日本農業学会ホームページ (http://pssj2.jp/overview/semina/bunseki_19.html) より申込書をダウンロードし，必要事項をご記入のうえ，下記 E-mailあるいはFAXにて，農業学会事務局あてにお申込みください。

日本農業学会 E-mail: nouyaku@pssj2.jp
FAX: 03-5980-0282

第39回 農薬製剤・施用法シンポジウム

主催：日本農薬学会農薬製剤・施用法研究会
協賛：農業食料工学会，日本雑草学会，粉体工学会，日本化学会，高分子学会，色材協会，日本油化学会
日時：2019年10月17日(木)～18日(金)
会場：つくば国際会議場（つくばエクスプレスつくば駅A3出口より徒歩10分）
URL: <http://www.epochal.or.jp/>
〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3
TEL: 029-861-0001 FAX: 029-861-1209

URL: <http://pssj2.jp/committee/seizai/seizai39.html>

1. プログラム (予定)

10月17日 13:00～17:30 特別講演 (2件)，フォーラム，
ポスターセッション
18:00～20:00 情報交換会
10月18日 9:00～16:00 特別講演 (3件)，技術研究発表

【特別講演】

- ① 「難防除外来雑草による被害実態と技術開発の課題」
黒川 俊二 (国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構)
- ② 「農薬散布用マルチローターの実用化と普及状況等について」
湯浅 一康 (株式会社丸山製作所)
- ③ 「マルチローターによる傾斜地果樹園薬液散布の課題と解決策」
岩波 徹 (東京農業大学農学部)
- ④ 「傾斜地カンキツ園における無人航空機の利用と病害虫防除の省力化」
増井 伸一 (静岡県農林技術研究所 果樹研究センター)
- ⑤ 「ドローン薬液散布に適したシリコン系展着剤の開発と普及」
Naue, Jeferson (Momentive Performance Materials)

2. 参加申込

1) 参加申込方法

所定の「参加申込書」(別紙1)に，所属，氏名(フリガナ)，連絡先，参加費振込予定日等の必要事項を明記の上，E-mail(別紙1のExcelファイル形式のまま)で下記にお申込み下さい。なお，発送事務等の省力化のため，会社・事業所・研究機関等の単位で代表者が取りまとめの上，一括してお申込み下さるようお願い致します。大会運営の都合上定員になり次第，締め切らせていただきますので，お早目の申込みをお願いします。

〈申込先〉

東邦化学工業(株) 追浜研究所 農薬助剤研究室内
第39回 農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
参加申込担当
種 和彦
〒237-0062 神奈川県横須賀市浦郷町5-2931
E-mail: seizaisympo@toho-chem.co.jp
TEL: 046-866-5736

2) 参加費 (8月1日～当日参加申込みの通常料金)

21,000円(内研究会費14,000円，情報交換会費7,000円)
尚，一日のみの参加，及び情報交換会の参加有無にかかわらず，参加費は一律(研究会費+情報交換会費)です。(振込手数料につきましては別途負担となります。)参加費には2日目の昼食(弁当)も含まれます。

参加申込書に記入の振込予定日に，下記，振り込み口座あてに参加費を振り込み頂きますようお願い致します。尚，一度振り込まれました分は返金できませんのであらかじめご了承下さい。ご入金確認後に，折り返し参加確認兼領収書をE-mailにて送付致します。

振込先：三菱東京UFJ銀行駒込支店 (店番号061)

普通口座番号：0020365

口座名：日本農薬学会 農薬製剤施用法研究会
(ニホンノウヤクガツカイ ノウヤクセイザイ セヨウホウ ケンキュウカイ)

3. 宿泊

事務局での宿泊手配は行っておりません。つくば駅周辺のホテルにつきましてはつくば国際会議場のホームページ(<http://www.epochal.or.jp/>)に会議場周辺のホテルの宿泊ガイドがございますのでご参照ください。早めの宿泊予約をお奨めします。

4. 事務局

ご不明な点がございましたら下記担当者までご連絡ください。

【シンポジウム全般に関する問い合わせ先】

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
農業技術革新工学研究センター 次世代コア技術研究領域
生産システムユニット内
第39回 農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
吉田 隆延
〒331-8537 埼玉県さいたま市北区日進町1-40-2
E-mail: seizai@affrc.go.jp
TEL: 048-654-7074

【参加申込, 参加費に関するお問い合わせ】

東邦化学工業(株) 追浜研究所 農業助剤研究室内
第39回 農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
参加申込担当
種 和彦
〒237-0062 神奈川県横須賀市浦郷町5-2931
E-mail: seizaisympo@toho-chem.co.jp
TEL: 046-866-5736

【技術研究発表及びプログラムに関するお問い合わせ】

日産化学(株) 物質科学研究所内
第39回 農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
技術研究発表担当
釜谷 拓和
〒274-8507 千葉県船橋市坪井西2-10-1
E-mail: seizai39@nissanchem.co.jp
TEL: 047-465-1116

第42回農薬残留分析研究会

主 催：日本農薬学会, 農薬残留分析研究会
日 時：令和元年10月31日(木)～11月1日(金)
場 所：コンパルホール(文化ホール)
〒870-0021 大分県大分市府内町1丁目5番38号
<http://www.compallhall.jp/>
交 通：JR大分駅から徒歩5分
参加費等(事前登録料金)：
研究会参加費：会員5,000円(当日7,000円), 非会員
8,000円(当日10,000円), 学生2,000円(当日3,000円)
情報交換会：8,000円
エクスカージョン(先着45名)：3,500円

参加申込み：参加申込書に必要事項を入力の上、メールもしくはFAXにて、下記の第42回研究会・実行委員会宛にお申込みください。受付完了メールが1週間以内に返信されますので、ご確認ください。事前参加申込み期限は**9月20日(金)**です。

発表申込み：発表申込書に演題、発表者、所属、連絡先等の必要情報を入力の上、メールもしくはFAXにて、下記の第42回研究会・実行委員会宛にお申込みください。受付完了メールが1週間以内に返信されますので、ご確認ください。発表申込み期限は**8月末日**で、原稿提出期限は**9月20日(厳守)**です。なお、発表形式は全てポスター発表で、受賞者(最優秀賞, 優秀賞, 委員会特別賞)の方には、大会2日目に口頭での内容紹介をお願いします。

企業展示・広告申込み：展示申込みは、予定数に達したので受付を終了しました。要旨集への広告掲載を希望される場合は、必要事項を入力の上、メールもしくはFAXにて、下記の第42回研究会・実行委員会宛にお申込みください。受付完了メールが1週間以内に返信されます。広告掲載の申し込み期限は、それぞれ8月末日です。

第42回実行委員会：飯島和昭(一般財団法人残留農薬研究所)
E-mail: iijima@iet.or.jp, FAX: 0297-27-4517

プログラム：
10月31日(木)：初日
13:00～13:10 開会挨拶(坂委員長)
シンポジウム「農薬残留分析に係る国際標準試験法の実際」
13:10～13:55 S-01「諸外国における残留農薬分析(分析法バリデーションなど)について(仮題)」
住化テクノサービス株式会社
門岡織江
13:55～14:40 S-02「家畜残留試験等の生物を対象とした農薬残留分析について(仮題)」
一般財団法人生物科学安全研究所
内田一成
14:40～16:20 ポスターセッション, 企業展示
16:20～17:05 S-03「果肉・果皮等, 農作物の部位別農薬残留分析について(仮題)」
一般財団法人残留農薬研究所 化学部
矢島智成
17:05～17:50 特別講演「転炉スラグの農業分野における活用について(仮題)」
大分県農林水産研究指導センター
玉井光秀
18:00～20:00 情報交換会

11月1日(金)：2日目
09:00 開場
09:10～10:20 企業セミナー 測定装置におけるデータインテグリティ(4社, 各15分)
C-01：アジレント・テクノロジー株式会社
C-02：日本ウォーターズ株式会社
C-03：サーモフィッシャーサイエンティフィック
C-04：株式会社島津製作所
10:20～11:20 ポスターセッション, 企業展示
11:20～11:45 ポスター発表における受賞講演(最優秀賞, 優秀賞, 委員会特別賞)
11:50 閉会

12:00～17:20 エクスカーション
(江藤園芸, 大分県花き研究施設, 中野酒造
などを見学予定)
17:20頃 大分空港にて解散(予定)

[お問い合わせ先]

一般財団法人残留農薬研究所 飯島和昭

TEL: 0297-27-4516 (ダイヤルイン)

E-mail: iijima@iet.or.jp, FAX: 0297-27-4517

第37回農業環境科学研究会

令和元年11月21日(木)～22日(金)
会場&宿泊: 倉敷せとうち児島ホテル
(岡山県倉敷市下津井吹上303-53)

テーマ:「グリーンケミストリー」

—有機化合物の合成と分解に学ぶSustainability—

1. スケジュール

11/21 (木) 12:30～18:00

12:30～ 受付開始(委員会は12:00～13:00)

13:15～13:30 開会挨拶(高木委員長), 司会・会場注意
(清田実行委員長)

1) 13:30～14:20 基調講演

「結晶スポンジ法を用いた微量有機化合物の構造解析」

東京大学大学院工学系研究科 藤田 誠

2) 14:20～15:00 「亜臨界水による木質バイオマスの分解と
バイオプラスチックモノマーの生産」

岡山大学大学院環境生命科学研究科 木村幸敬

15:00～15:15 休憩

3) 15:15～15:55 「PETの酵素分解はどの程度可能になった
か」

岡山大学名誉教授 河合富佐子

4) 15:55～16:35 「酵素利用による機能性糖質の開発」

(株)林原 生産統括部 万代隆彦

16:35～16:50 休憩

5) 16:50～18:00 ポスター発表

6) 18:30～20:30 情報交換会

11/22 (金) 9:00～15:30

1) 9:00～9:50 特別講演1「水が拓く有機化学」

東京大学大学院理学研究科 小林 修

2) 9:50～10:30 「有機色素を用いる人工光合成:色素内包
CNTを利用した完全水分解」

岡山大学大学院環境生命科学研究科 高口 豊

10:30～10:40 休憩

3) 10:40～11:20 「脂質分子が繋ぐ生命と環境」

愛媛大学農学部 安部真人
4) 11:20～12:00 特別講演2「岡山県におけるモモ栽培の歴史と
培われてきた技術による高品質化」

岡山大学大学院環境生命科学研究科 福田文夫

12:00～12:30 総合討論(司会:高木委員長)

12:30～12:40 閉会挨拶(清田実行委員長)

13:00～15:30 エクスカーション

2. 参加申込み

1) 参加申込み方法

所定の参加申込書に, 所属, 氏名(フリガナ), 連絡先等の必要事項を明記の上, 令和元年10月28日(月)までにE-mail(別紙1のExcelファイル形式のまま)で下記にお申し込み下さい. なお, 発送事務等の省力化のため, 会社・事業所・研究機関等の単位で代表者が取りまとめる上, 一括してお申し込み下さるようお願い致します.

・参加申込書:別紙1をご参照ください

・申込み先:

第37回農業環境科学研究会事務局

山梨大学生命環境科学部

片岡良太(カタオカ リョウタ)

E-mail: rkataoka@yamanashi.ac.jp

TEL/FAX: 055-220-8835

2) 会費

1. 日本農薬学会及び協賛学会(協会)会員の場合

22,000円(内参加費(資料代込み)8,000円, 宿泊費8,000円, 懇親会費6,000円)

2. 上記学会の個人会員でない場合:

26,000円(内参加費(資料代込み)12,000円, 宿泊費8,000円, 懇親会費6,000円)

3. 学生

11,000円(内参加費(資料代込み)4,000円, 宿泊費4,000円, 懇親会費3,000円)

※参加費には, 1日のみの参加, および懇親会の参加有無にかかわらず, 参加料金は一律(研究会費+懇親会費)です(振込手数料につきましては別途負担となります).

3) 参加費及び展示費振込

参加申込み後は, 下記振り込み口座に参加費をお早めに振り込み頂きますようお願い致します. また, 一度振り込まれました分は返金できませんのであらかじめご了承下さい. ご入金確認後に, 折返し参加確認および参加費振込確認書をE-mailにて送付致します. なお, 参加申込み・入金確認書をもって領収書とさせていただきます. 企業展示の方は代表者の参加費(8,000円)と展示費(30,000円)をお振り込みください. また, 会場ホテル宿泊希望の方は宿泊費(8,000円/人)もお振り込みくださ

い.

参加費振込先：

口座名 農薬環境科学研究会山梨支部
(ノウヤクカンキョウカガクケンキョウカイ
ヤマナシシブ)
銀行名 ゆうちょ銀行 ○二九店 (店番029)
口座記号番号 00270-5-0139258, 当座預金

3. ポスター発表申込み

ポスター発表は農薬環境科学全般に関するものとします。
ポスター発表：研究会会場内、ポスター展示にて行います。
発表を希望される方は、演題、発表者、所属等を所定の申込み用紙に記入の上、令和元年10月4日(金)までにE-mailで下記にお申込み下さい。また、発表希望者は、[ポスター発表要領] (別紙3) により作成した発表要旨を令和元年10月18日(金)までにE-mailでお送り下さい。なお、ポスターセッションを希望される方も別途参加申込みが必要となります。前項「2. 参加申込み」をご参照ください。また、若手の発表者を対象にポスター賞を授与いたします。
発表申込書：別紙2をご参照ください
ポスター発表要領：別紙3をご参照ください

・送付先：

担当委員 (ポスター発表担当)
国立研究開発法人農研機構 西日本農業研究センター
森 伸介 (モリシンスケ) 宛
E-mail: morishin@affrc.go.jp

4. 宿泊先

第37回大会では参加費に宿泊が含まれております。ご出席の皆様各自にてホテル等ご予約をする必要はございません(但し、企業展示の方を除く)。ご出席の皆様には会場ホテルに宿泊していただくこととなります。部屋タイプは全てシングルではございませんので、相部屋になることもあります。ご了承ください。

5. エクスカーション

第37回大会では、22日の午後にエクスカーションをご用意

しています。エクスカーションに参加する方は22日の研究会終了後に会場でお昼を食べた後、マイクロバスで以下のコースをご案内致します。

※参加定員数は先着30名です。

※※参加費3,000円に昼食代が含まれています。

【コース】所要予定時間 (12:45~15:30)

鷺羽山周回→岡山大学資源植物科学研究所 (案内：森泉教授)→倉敷美観地区 (大原美術館)→倉敷駅 (15:30頃解散)

6. 事務局

[シンポジウム全般に関する問い合わせ]

国立研究開発法人農研機構 農業環境変動研究センター 有害化学物質研究領域

高木 和広 (タカギ カズヒロ)

〒305-8604 茨城県つくば市観音台3-1-3

TEL: 029-838-8325

E-mail: ktakagi@affrc.go.jp

[参加申込みに関するお問合せ]

山梨大学 生命環境学部 環境科学科

片岡 良太 (カタオカ リョウタ)

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37

TEL: 055-220-8835

E-mail: rkataoka@yamanashi.ac.jp

[会場・宿泊・エクスカーションに関するお問合せ]

岡山大学大学院環境生命科学研究科

清田 洋正 (キヨタ ヒロマサ)

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1

TEL: 086-251-8348

E-mail: kiyota@okayama-u.ac.jp

[ポスターセッション・企業展示に関するお問合せ]

国立研究開発法人農研機構 西日本農業研究センター

森 伸介 (モリ シンスケ)

〒721-8514 広島県福山市西深津町6-12-1

TEL: 084-923-5360

E-mail: morishin@affrc.go.jp

「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018」出版のご案内

日本農薬学会では、精度の高い残留農薬分析を実施する上で特に配慮すべき事項を「Q&A」形式に取りまとめた「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ」を出版しています。2003年に初版を発行以来、好評を博して改訂を重ねてまいりましたが、この度、改訂4版を上梓する運びとなりましたのでお知らせします。改訂4版では、前3版出版以降の農薬登録制度の動向を反映させ、最新の科学的知見を盛り込むよう全文の見直しを行ったうえで、初学者の方にも、より読みやすくなるよう心がけて内容を再整理しました。また、携行性を高めるために軽量化を図りました。前版と同様に残留農薬分析の基本やノウハウを得るための参考書として、さらに、食の安全に関心をお持ちの幅広い方々に対しても、農薬の規制についての理解の一助となるようお役立て頂けると幸いです。定価は3,000円です（送料別）。

購入申込み方法：

メールまたはFAXにて、以下の日本農薬学会事務局に氏名、所属、メールアドレス、電話番号、送付先住所、購入冊数（FAX申込みの場合はFAX番号）等をご連絡下さい。また、メール等の件名には「問答あれこれ購入」と記入して下さい。折り返し請求書（送料を含む）を同封し発送しますので、振込みをお願いします。詳細は、学会ホームページもご参照ください。

日本農薬学会事務局：

〒114-0015 東京都北区中里2丁目28番10号 日本植物防疫協会内

FAX: 03-5980-0282

MAIL: nouyaku@pssj2.jp

学会HP: http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html

講師派遣のご案内

日本農薬学会では、一般市民や農業、教育関係の方々に農薬に関する知識や食料生産、食品安全、環境影響などに関する理解を深めていただくことを目的として、専門家を講師として派遣しています。派遣講師が行う講義の内容は、ご要望にできる限り沿うようにしたいと考えておりますので、遠慮なくご相談ください。本活動にご興味がありましたら、学会ホームページ (http://pssj2.jp/overview/semina/haken_16.html) をご参照のうえ、日本農薬学会事務局にご連絡ください。

【予告】農薬科学研究奨励金

日本農薬学会では、農薬科学研究の支援を目的として、特に競争的資金の獲得が難しい研究課題や研究者の方々にも利用して頂けるよう農薬科学研究奨励金の交付を行っています。今年度も令和2年度交付分の募集を9～11月に予定していますので、応募をお考えの皆様には是非前もってご準備下さい。詳細な応募要件等は、後日正式に決定次第、ご案内いたします。

過去の採択課題：http://pssj2.jp/inside/past_grant.html

日本農薬学会第45回大会のご案内

日本農薬学会第45回大会を令和2年3月8日（日）から3月10日（火）までの3日間にわたって大阪府堺市の大阪府立大学（中百舌鳥キャンパス）および大阪市の松下IMPホールにて開催いたします。本会会員ならびにご関心をお持ちの皆様には、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。植物防疫関係2学会（日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会）、日本雑草学会、ならびに、植物化学調節学会の正会員・学生会員の方は、例年通り本学会会員扱いとなりますので、お近くの関連学会の方にもご参加・ご発表をお勧めいただければ幸いです。また、非会員の方のご参加も歓迎いたします。

大会関係の記事は、PSSJ News Letterにてご案内致します。また詳細は、大会ホームページで随時お知らせいたしますのでご確認ください。

I. 開催場所および日時

- ・令和2（2020）年3月8日（日）：総会、学会賞授賞式、受賞講演、特別講演、懇親会、受賞祝賀会

『松下IMPホール』

https://www.kanden-kaijyou.jp/access/ac_imp.php

・令和2(2020)年3月9日(月)～10(火)：一般講演，シンポジウム，ランチョンセミナー，展示会

『大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス B3棟』

<http://www.osakafu-u.ac.jp/info/campus/nakamozu/>

II. プログラム(案)

令和2(2020)年3月8日(日)～10日(火)

月・日	午前	昼	午後	会場
3月8日(日)	総会 授賞式 受賞講演		受賞講演 特別講演 懇親会・受賞祝賀会	松下IMPホール ホテルニューオータニ大阪
3月9日(月)	一般講演	ランチョンセミナー	一般講演	大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
3月10日(火)	シンポジウム	ランチョンセミナー	シンポジウム	大阪府立大学中百舌鳥キャンパス

常任評議員会，評議員会および編集委員会は，3月7日(土)に大阪府立大学I-site なんば (<https://www.osakafu-u.ac.jp/info/campus/access/>) で開催いたします。詳細については別途ご案内します。

日本農薬学会第45回大会における広告，展示およびランチョンセミナー募集のご案内

日本農薬学会第45回大会が下記の日程・会場で開催されます。つきましては，講演要旨集への広告の掲載，展示会への出展，およびランチョンセミナーの開催等でご支援を賜りたいと考えております。本大会の成功のために，何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日 程：令和2(2020)年3月8日(日)～3月10日(火)

会 場：大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス (大阪府堺市)

日本農薬学会第45回大会組織委員会委員長

大阪府立大学 大学院生命環境科学研究科 太田 大策

〈申し込み・問い合わせ先〉

日本農薬学会第45回大会組織委員会庶務

大阪府立大学 大学院生命環境科学研究科 岡澤 敦司

TEL: 072-254-7341

E-mail: okazawa@plant.osakafu-u.ac.jp

発行所：日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

TEL: 03(5980)0281 FAX: 03(5980)0282

E-mail: nouyaku@pssj2.jp